

令和元年度 行政評価表: スポーツ課

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善													
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)												H30年度			R1年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)					
			事業評価の活動指標(目標・実績)						事業評価の成果指標(目標・実績)						決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)	成果向上 余地はあるか	評価の理由	コスト削減余 地はあるか	評価の理由	1次評価(担当者評価)			2次評価					
			指標名等	H30年度	R1年度	指標名等	H30年度	R1年度	実績	実績	実績	実績	実績	実績								実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
生活環境 の保全	広域ごみ処理 施設建設に係 る地域振興事 業	広域ごみ処理施設の建設に伴い、佐賀県西部広域環境組合と松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会(現:さが西部クリーンセンター対策協議会)との間で締結された地域振興策協定に基づく地域振興事業(松浦町スポーツ・レクリエーション施設整備)を整備する。	年度毎の進捗率	%	100	100	100%	100	91	91%	事業全体の進捗率	%	15	17	113%	25	26	104%	104,119	108,445	83,499	なし	域振興事業としての取り組みであり、予算も限られていることから成果を向上させることは極めて難しい。	なし	地元の意見を最大限に取り入れて実施しているため削減は難しい。	維持	事業の整備計画に基づき、令和3年度完成を目指し、必要事項を確保する。	令和3年度完成を目指し、必要事項を確保する。	維持	地元も完成を待ちわびている施設であるため、令和3年度完成を目指し、計画どおりに事業を進捗させる。
文化芸術・ スポーツ の振興	ニュースポーツ 大会開催事業	各種目団体等と協力し、各種ニュースポーツ大会を開催する。 ①市民ゲートボール大会 ②市民グラウンドゴルフ大会 ③さわやかスポレク祭 ④ニュースポーツ教室	グラウンドゴルフ大会開催	回	1	1	100%	1	1	100%	グラウンド・ゴルフ大会参加人数	人	450	420	93%	450	463	103%	74	80	74	低	多くの種目は競技人口が減少する傾向にあり、成果を向上させることは難しい。	なし	現状においても少ないコストで事業を行っており、これ以上の削減はできない。	維持	必要最小限の経費で事業を行っている状況である。現状を維持しながらも成果を向上させる方法を検討していきたい。	必要最小限の経費で運営を行っており、例年並みを確保する。	維持	大会等も定着し、必要最小限の経費で運営していることから、現状を維持していく。
文化芸術・ スポーツ の振興	競技スポーツ 大会開催事業	スポーツを通して住民相互の交流を深め、活力あるまちづくりに貢献するため、各種競技スポーツ大会を開催する。 ・国見台陸上競技選手権大会 ・市長旗争奪高校野球大会 ・市長旗争奪中学生野球大会 ・市長旗争奪少年野球大会 ・市民早朝ソフトボール大会 ・市民軟式野球選手権大会 ・市長旗争奪ママさんナイターバレーボール大会	開催大会数	回	7	7	100%	7	7	100%	競技スポーツ全国大会等出場者数	人	50	69	138%	50	142	284%	344	465	446	低	現状において主だった種目の大会を開催し、競技力の向上を図っており、これ以上の向上の余地は低い。	なし	委託料を段階的に削減した経緯があり、これ以上の削減は大会への参加者の負担が増大する。	維持	最小限の委託料で実施しており、現状維持を続けたい。	必要最小限の経費で運営を行っており、例年並みを確保する。	維持	各種目団体でも大会参加チーム数を増やす工夫もされており、今後も維持していく。
文化芸術・ スポーツ の振興	市内一周駅伝 競走大会開催 事業	各町対抗(公民館単位)で、駅伝競走大会を開催する。	大会開催	回	1	1	100%	1	1	100%	参加チーム数	チーム	13	13	100%	13	13	100%	246	254	245	低	各町対抗で行っているところであるが、それぞれのチームが選手の確保が課題となっている状況であり、向上の余地は低い。	低	警察からの指導等で、運営上選手収容バス等を配置するなど、必要最低限のコストで事業を行っている。	維持	経費の削減を図り、必要最小限の経費で事業を行っている状況であるが、現状のままでも成果を向上させる方法を検討したい。	必要最小限の経費で運営を行っており、例年並みを確保する。	維持	市内で最も継続している大会であり、今後も大会を継続していく。
文化芸術・ スポーツ の振興	競技スポーツ 全国大会等出 場支援事業	スポーツの振興を図るため、全国大会等に出場する個人及び団体等に対し、全国大会等への出場に要した旅費の一部を補助する。	補助金額	千円	1,000	928	93%	1,000	1,481	148%	競技スポーツ全国大会等出場者数	人	50	69	138%	50	142	284%	928	1,880	1,481	中	県内予選通過を条件に制限して補助を行っており、現状で行える向上の余地は低い。補助対象者の枠を広げる等の検討はできる。	なし	全国大会等へ出場する際の宿泊料と交通費に補助を行っており、削減の余地はない。	維持	現状を維持しながらも成果を向上させる方法を検討していく。	令和2年度から補助対象者の拡大を行ったため、今後は例年並みを確保し、不足が生じる場合は補正予算等で対応する。	維持	全国大会等の出場者の負担軽減、競技力の向上にも貢献しており、今後も維持していく。
文化芸術・ スポーツ の振興	ウォーキング 大会開催事業	市内各種団体で構成した実行委員会に運営業務を委託し、ウォーキング大会を開催する。 ・開催時期 11月23日(祝) ・場所 国見台陸上競技場発着の市内周遊3コース ・参加者 年齢・性別等は問わない	大会回数	回	1	1	100%	1	1	100%	大会の参加者	人	500	516	103%	500	539	108%	300	300	300	低	限られた人員、予算で効率的に実施しており、現状においてはこれ以上の成果向上は難しい。	なし	スタッフを関係団体等のボランティアで行っており、これ以上のコスト削減の余地はない。	維持	参加者数も安定し、大会も定着しているため、現状を維持していく。	例年並みを確保しながらも、企業協賛(賞品)も募るなど、参加者が楽しいイベントとしていく。	維持	今後も参加者を楽しんでいただけるよう、運営に工夫しながら継続していく。
文化芸術・ スポーツ の振興	スポーツ団体 支援事業	市のスポーツ振興を図るため、各種事業の運営費等を支援する。 ・市体育協会運営費補助金 ・町民スポーツ振興補助金 ・市スポーツ災害共済会運営費補助金 ・市内一周駅伝競走大会出場費補助金 ・市スポーツ少年団本部運営費補助金	補助金額	千円	2,700	2,767	102%	2,700	2,764	102%	県民体育大会優勝競技数	個	3	2	67%	3	2	67%	2,767	2,764	2,764	低	これまでにを行った大幅なコスト削減等もあり、現状ではこれ以上の成果向上は難しい。	低	これまでのコスト削減もあり、各団体の運営を考えると、これ以上のコスト削減は難しい。	維持	現状を維持しながらも成果を向上させる方法を検討していきたい。	必要最小限の経費で事業を行っており、例年並みを確保する。	維持	本市のスポーツ振興の母体となる団体への支援であり、今後も維持していく。

令和元年度 行政評価表: スポーツ課

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善														
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)									事業評価の成果指標(目標・実績)						H30年度			R1年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)			
			H30年度			R1年度			H30年度			R1年度			決算額(千円)	予算額(千円)	決算額(千円)	成果向上余地はあるか	評価の理由	コスト削減余地はあるか	評価の理由	1次評価(担当者評価)		2次評価							
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績								達成率	目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由	R3年度予算要求の方向性	所属長評価		
文化芸術・スポーツの振興	県民体育大会出場支援事業	県民体育大会に出場する選手の負担軽減を図るため、出場に要する旅費等の助成を行う。	県民体育大会出場者(2日間の延べ人数)	人	550	489	89%	550	547	99%	県民体育大会優勝競技数	個	3	2	67%	3	2	67%	920	1,116	1,116	中	他の事業と連携し、競技力向上を図ることで、成果を向上させる余地はある。	なし	現状においても出場者は負担を感じており、これ以上のコスト削減の余地はない。	維持	他の事業との連携を図りながら、事業を実施していく。	大会開催地で予算額が変更になるが、必要最小限の経費で予算を確保する。	維持	県民最大のスポーツイベントへの市代表選手の派遣費用であり、開催地によって経費は異なるものの、事業は維持していく。	
文化芸術・スポーツの振興	スポーツ合宿誘致事業	スポーツ合宿を誘致し、市民のスポーツに関する意識の醸成及び競技力の向上を図るため、本市でスポーツ合宿を実施する団体に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。市内体育施設を利用する団体で、市内施設に2日以上宿泊し、延べ20人以上となった場合に、宿泊費の一部助成を行う。 (1泊1,500円/人 (1団体あたり上限150,000円))	合宿団体数	団体	25	25	100%	25	31	124%	のべ宿泊者数	人	2,000	1,516	76%	2,000	2,072	104%	2,208	3,017	3,017	中	種目によっては県のスポーツ合宿誘致などと連携することにより、これまで以上に成果を向上させる余地はある。	低	補助単価、補助上限を小さくする以外に削減は難しい状況である。	維持	令和2年度から補助単価、補助上限を小さくし、現在は現状を維持しながらも成果を向上させる方法を検討していく。	例年並みを確保し、不足が生じる場合は補正予算等で対応する。	維持	市内でのスポーツ合宿も定着し、経済効果や競技力向上にも貢献しており、事業は維持していく。	
文化芸術・スポーツの振興	ハーフマラソン大会開催事業	「伊万里ハーフマラソン」を開催する。種目 ハーフマラソン 3km	大会開催	回	1	1	100%	1	1	100%	参加者数	人	3,200	3,842	120%	3,500	3,837	110%	2,000	2,000	2,000	低	選手の安全面を考慮すると、これ以上の成果向上は難しい。	なし	運営費の大半を参加料で賄っており、コスト削減は難しい。	維持	ハーフの部の参加者が安定して目標値を上回ったため、今後は現状を維持しながらも参加者が楽しいイベントとしていく。	例年並みを確保しながらも、企業協賛(協賛金・賞品)も募るなど、参加者が楽しいイベントとしていく。	維持	本大会は市外からの参加者も多く、本市のPRにも大きく貢献していることから、今後も継続していく。	
文化芸術・スポーツの振興	スポーツ大会開催支援事業	全国・九州規模の大会を本誌で開催する団体に対し、大会開催奨励補助金を交付する。全国・九州規模の競技レベルの高いスポーツが本市で実施されることで、市民の「観るスポーツ」の場づくりを図るとともに、本市のスポーツ水準向上(市民のスポーツに対する意識醸成等)を図る。	補助回数	回	2	2	100%	2	2	100%	大会延べ宿泊者数	人	400	770	193%	400	264	66%	165	529	529	中	令和5年に佐賀県で国民スポーツ大会が行われるなど、スポーツに対する機運も高まっており市内においても各種大会が行われる可能性が高く、成果向上の余地はある。	なし	今後開催される大会数は増加する可能性が高くコスト削減は難しい	維持	現状を維持しながらも成果を向上させる方法を検討していく。	必要最小限の経費で事業を行っており、例年並みを確保する。	維持	市民の皆さんが高いレベルの競技を目の前で観ることが出来る良い機会であるので、今後の大会開催についても維持していく。	
文化芸術・スポーツの振興	ドリームベースボール開催事業	市民にスポーツを通して夢や感動を与えるとともに、競技力の向上につなげるため、ドリーム・ベースボールin伊万里を開催する。 ・開催時期 9月23日(祝) ・場所 園見台野球場	大会回数	回	-	-	-	1	1	100%	大会の来場者	人	-	-	-	4,000	4,330	108%	0	900	885	低	観客や参加選手の安全面を考慮すると、これ以上の成果向上は難しい。	なし	スタッフを関係団体等のボランティアで行っており、これ以上のコスト削減の余地はない。	完了	10年ぶりに行った事業である。	完了事業であり予算要求は行わない	完了	市内外から4,330人の来場があり、競技力の向上を図るとともに伊万里の魅力発信を図ることができた。	
生活環境の保全	散弾銃射撃場環境調査事業	伊万里市散弾銃射撃場及び旧散弾銃射撃場からの鉛散弾による土壌汚染の対策を図る。	観察・調査の実施回数	回	2	2	100%	2	2	100%	検討委員会の開催回数	回	2	1	50%	2	0	0%	2,707	16,629	11,284	低	必要に応じて検討委員会を開催しているところであり、向上の余地は難しい。	なし	より経費の掛からない方法を検討しながら事業を行っており、コストの削減は難しい。	維持	現状を維持しながらも成果を向上させる方法を検討していく。	鉛問題解決に向け必要な事業費を確保する。	維持	アクションプランに基づき、事業を進めており、当面は維持しているが、令和元年度実施の委託業務の中で「場外の水質汚染対策」の手法や費用等が算出したため、検討委員会からの助言のもと、事業を拡大し、対策を進めていく。	